



エルサルバドル共和国

Republic of El Salvador

2007年12月現在



一般事情

- 1.面積 21,040平方キロメートル(九州の約半分)
- 2.人口 676万人(2004年経済省統計局)
- 3.首都 サンサルバドル
- 4.民族 スペイン系白人と先住民の混血約85%、先住民約5%、ヨーロッパ系約10%
- 5.言語 スペイン語
- 6.宗教 カトリック教
- 8.通貨 ドル及びコロン(2001年1月よりドル化)
為替レート 1米ドル = 8.75コロンで固定(2001年1月より)
補助通貨単位 100センターボ = CENTAVO/S
- 9.査証(ビザ) 査証相互免除取極(1973年)
- 10.在留邦人数 170人(2007年10月現在)
- 11.在日当該国人数 104人(2005年12月現在)
- 12.電源 - V - Hz コンセント・タイプ
- 13.国際電話 国番号 503 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 0.99 US\$ (20本当り)
税率 46.0%
製造数量 1,620 (百万本/年)
シガレットメーカー

Cigarrerria Morazan, SA de CV	BAT
-------------------------------	-----

15.略史

年月	略史
1525年	スペイン人がサンサルバドル市を建設後、グアテマラ総督領に編入
1821年	独立宣言
1823年	中米諸州連合結成
1841年	同連合から分離独立
1962年	国民協議党政権成立
1979年	クーデターにより革命評議会発足
1989年	クリスティアーナ大統領(ARENA)就任
1992年	政府とゲリラの間で和平合意調印、内戦終結
1994年	カルデロン大統領(ARENA)就任
1999年	フローレス大統領(ARENA)就任
2001年	1月及び2月に大地震が発生、死者1,259人、被災者150万人
2004年	サカ大統領(ARENA)就任

16.在外大使館・領事館

在エルサルバドル日本国大使館
Embajada del Japon en El Salvador
89 Av. Norte y Calle El Mirador, Colonia Escalon., Nivel 6 Torre 1,
World Trade Center, San Salvador.
Tel: (503) 2528 1111; Fax: (503) 2264 6061

17.駐日大使館・領事館

エルサルバドル共和国大使館
Embassy of the Republic of El Salvador in Japan
〒106-0031 港区西麻布4丁目12-24 第38興和ビルディング8階803号室
電話: 03-3499-4461
在横浜エルサルバドル共和国名誉総領事館 管轄区域: 日本全土(除く大阪府、神戸市)
Honorary Consulate-General of El Salvador in Yokohama
〒231-0005 横浜市中区本町1丁目3 綜通横浜ビル3階
電話: 045-224-8022

政治体制・内政

- 1.政体 立憲共和制
- 2.元首 エリアス・アントニオ・サカ・ゴンサレス大統領
(2004年6月～2009年5月、任期5年、連続再選禁止)
- 3.議会 一院制、議員定数84名、任期3年
- 4.政府 (1)首相名 首相職無し
(2)外相名 フランシスコ・ライーネス・リバス

5.内政

- (1)1979年以来、約7万5千人の戦死者を出し、政府軍とゲリラ勢力の間で続いた激しい内戦は、1992年1月和平プロセスは国連の監視・検証の下、順調に進展し、国連平和維持活動の成功例として高い評価を得て1998年に和平合意の完全履行を宣言。
- (2)2004年6月、国民共和同盟(ARENA)のサカ大統領が就任。ARENAは1989年より連続4期大統領を輩出。社会開発分野を重視するサカ大統領はこれまで50%台後半の高い支持率を維持。最大の課題は治安の改
- (3)2006年3月の国会議員選挙では野党FMLNが全議席の3分の1を上回る議席を獲得し、重要法案の採択

(4)2009年には、大統領選挙が予定されている。

外交・国防

1.外交基本方針

対米関係を最重要視している。
中米諸国との連帯強化及び中米統合機構(SICA)を通じた統合の促進に積極的。
ラテンアメリカ諸国との協調。台湾と外交関係あり。
中国及びキューバ等と外交関係なし。

2.軍事力(2005/2006年ミリタリーバランス)

- (1) 予算 106百万米ドル(2005年)
- (2) 兵役 1年義務
- (3) 兵力 15,500人(陸軍13,850人、海軍700人、空軍950人)

経済

- 1.主要産業 マキラ製品(保税区で生産された衣類等)、農業(コーヒー、砂糖)
- 2.GDP 18,554百万ドル(2006年)(中銀)
- 3.一人当たりGDP 2,654ドル(2006年)(中銀)
- 4.経済成長率 2.8%(2005年)、4.2%(2006年)(中銀)
- 5.物価上昇率 4.5%(2005年)、4.9%(2006年)(中銀)
- 6.失業率 6.8%(2004年)、7.2%(2005年)(中銀)
- 7.総貿易額(中銀)

- (1) 輸出 FOB 3,513百万ドル(2006年)対前年比 3.7%増
- (2) 輸入 CIF 7,628百万ドル(2006年)対前年比 11.6%増

8.主要貿易品目

- (1) 輸出 繊維製品、コーヒー、砂糖、えび
- (2) 輸入 石油、電機機器、自動車

9.主要貿易相手国

- (1) 輸出 米国、中米諸国、ドイツ
- (2) 輸入 米国、中米諸国、メキシコ

10.通貨

ドル及びコロソ(2001年1月よりドル化)

11.為替レート

1米ドル=8.75コロソで固定(2001年1月より)

12.外貨準備

1,907百万ドル(2006年)(中銀)

13.国家予算

33.38億ドル(2006年)

14.対外公的債務

5,027百万ドル(2006年)(中銀)

15.経済概況

1992年の内戦終了後、2度の大地震やハリケーン等の自然災害に見舞われながらも経済はプラス成長を維持。2001年の通貨統合により、国内経済のドル化が進展し、金利は低下、物価上昇率も安定。約250万人といふ2006年、米国との自由貿易協定(米・中米・ドミニカ共和国自由貿易協定:DR-CAFTA)が発効した。DR-CAFTA発効後の好調な輸出、農業及び観光分野の伸びに支えられ、2006年の経済成長率は4.2%と

経済協力

1.日本の援助実績(単位:億円)

- (1) 有償資金協力(2006年度まで、ENベース)448.77
- (2) 無償資金協力(2006年度まで、ENベース)310.28
- (3) 技術協力実績(2006年度まで、JICA経費実績ベース)150.45

2.主要援助国

- (1) 米国 (2) スペイン (3) 日本(2005年)

二国間関係

1.政治関係

伝統的に友好関係

1935年2月 外交関係樹立

1952年5月6日 外交関係再開

(1992年5月 1980年より停止していた大使館員常駐を再開)

2.経済関係

(1)対日貿易

(イ)貿易額(2006年、貿易統計)

輸出 30.16億円

輸入 142.20億円

(ロ)主要品目

輸出 コーヒー、衣料

輸入 自動車、電気製品

(2)日本からの直接投資(1951~2004年度累計)

121億円(19件)

3.文化関係

一般文化無償累計 15件 6.727億円

草の根文化無償累計 1件 約0.1億円

4.在留邦人数

170人(2007年10月現在)

5.在日エルサルバドル人数

104人(2005年12月現在)

6.要人往来

(1)往(1980年以降)

年月	要人名
1984年	塩川正十郎特派大使(大統領就任式)
1989年	中島源太郎特派大使(大統領就任式)
1994年	東祥三外務政務次官
	山花貞夫特派大使(大統領就任式)
1999年	自見庄三郎特派大使(大統領就任式)
2000年	自見庄三郎衆議院議員、北橋建治衆議院議員、鈴木宗男衆議院議員、

	堀込征雄衆議院議員、細田博之衆議院議員(衆議院公式派遣議員団)
2001年	山口泰明外務大臣政務官(中米カリブ歴訪)
2004年	大島理森特派大使(大統領就任式)
2005年	常陸宮同妃両殿下
2006年	佐々木幹夫経団連中南米地域委員長(日・中米ビジネスフォーラム)
2006年	岡田広厚生労働大臣政務官
2007年	横路孝弘衆議院副議長

(2) 来(1980年以降)

年月	要人名
1981年	チャベス・メナ外相
1987年	ロドリゲス大統領第一代行(震災復旧援助要請) ベルドモ経済相
1988年	アセベド外相(外務省賓客)
1989年	アセベド外相(大喪の礼)
1990年	クリスティアーニ大統領、パカス外相(即位の礼)
1991年	リエバノ企画相(米州開発銀行(IDB)名古屋総会)
1992年	リエバノ企画相(高級実務者招聘)
1993年	パカス外相(外務省賓客) (民主主義と開発のためのパートナーシップ(PDD)東京特別会合) クリスティアーニ大統領 リエバノ企画相兼外相
1994年	ゴンサレス企画相、サンシビリニ公共事業相
1996年	ゴンサレス外相(第2回日・中米フォーラム)
1997年	カルデロン大統領(政府による招聘)
2000年	ブリスエラ外相(外務省賓客) キンタニージャ副大統領(小淵前総理葬儀)
2001年	キンタニージャ副大統領(日・エルサルバドル友好委員会経済ミッション) ブリスエラ外相(国際協力銀行との円借款契約調印)
2004年	ブリスエラ外相
2005年	デ・エスコバル副大統領(4月 IDB沖縄総会、8月 日本・中米首脳会談) ライーネス外相(8月 デ・エスコバル副大統領に同行)
2006年	マサ厚生相(経済協力案件の業者契約調印) ロチ観光相(観光・投資セミナー) サカ大統領(公式実務訪問賓客) ライーネス外相(サカ大統領同行) デ・ガビディア経済相(同上) ロチ観光相(同上)
2007年	ロチ観光相(世界旅行博) ニエト公共事業相(経済協力案件の業者契約調印)

7. 二国間条約・取極

- 1964年 通商協定
- 1968年 青年海外協力隊派遣取極
- 1973年 査証相互免除取極
- 2005年 技術協力協定

8. 議員交流

- 1999年 日本・エルサルバドル友好議員連盟設立
- 2000年 エルサルバドル・日本友好議員連盟設立(超党派)